

**宮崎大学**  
**地域資源創成学部**  
**「実習・実践教育」の取組**

**平成29年11月18日**

**宮崎大学 地域資源創成学部**

# 「地域資源」とは

- 温暖な気候
- 豊富な日照時間
- 豊かな自然 等

自然資源

- 農林畜水産業
- フードビジネス産業
- 太陽光関連産業
- ICT産業
- 観光スポーツ産業等

経済資源

地域資源

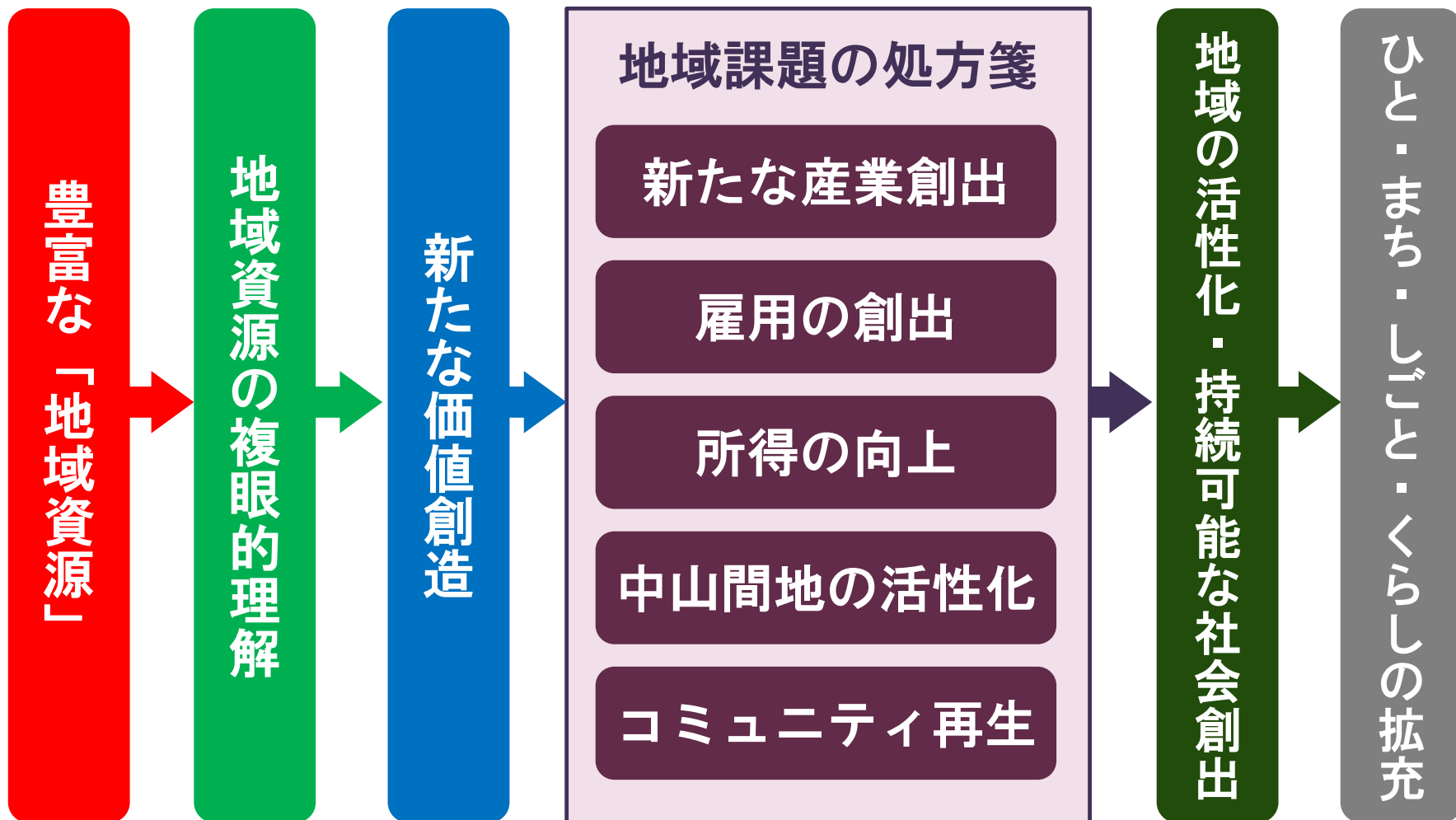
社会資源

- 地域コミュニティ
- 郷土愛・県民性
- 農耕・狩猟民族文化
- 神話・古墳等の史跡

人的・知的  
資源

- 一次産業技術者
- 多様な地元企業
- 高い出生率
- 高等教育機関 等

# 地域資源の「創成」とは





# 地域学部のカリキュラムの特性

専門科目（マネジメント/コース）

実践・実習教育（地域資源にふれる現地実習）

キャリア形成（職業講話・講習・企業訪問）

長期インターンシップ（職業体験）

異分野連携教育（文理融合等）

# 「実践・実習教育」の取組

1  
年次

地域理解実習（大学立地・周辺地域）

地域探索実習Ⅰ（都市部・中山間地）

2  
年次

地域探索実習Ⅱ（産業・企業・団体等）

3  
年次

コース別マネジメント実践Ⅰ

コース別マネジメント実践Ⅱ

コース別マネジメント実践Ⅲ

ゼミ活動

4年次 卒業研究【卒業研究】

# 「理解」から「実践」へと 発展させる実習プログラムを設計

「地域（社会・資源）」を**理解**する

「地域（社会・資源）」を**探索**する

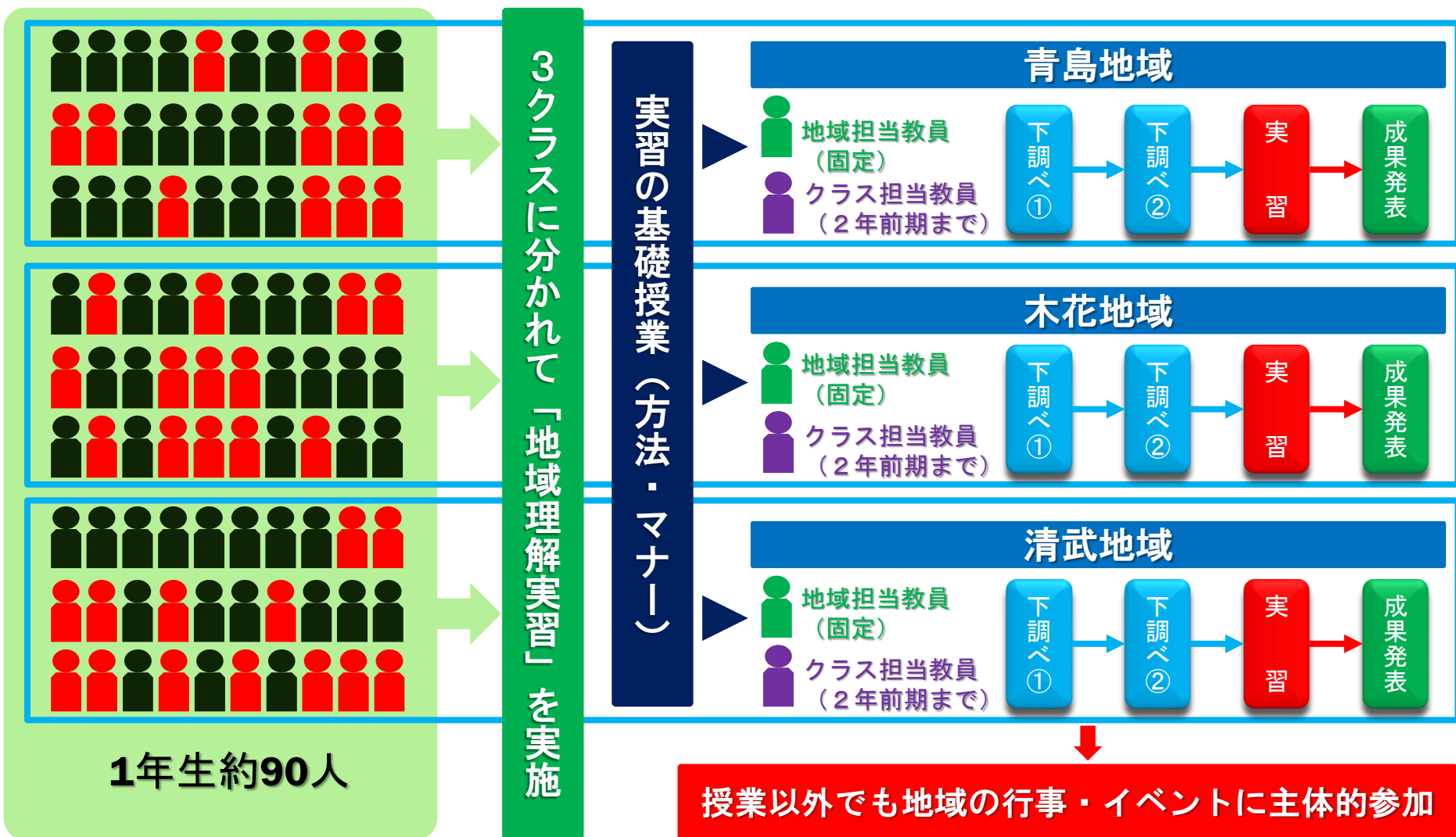
「地域」のなかで**実践**する【ゼミ活動】

「地域」をテーマに**まとめる**【卒業研究】

# 地域理解実習の取組（1年前）

- 大学立地・周辺地域（木花・青島・清武）の理解
- 実習を通じて、大学立地・周辺地域の地域現状や地域資源を理解をすることで、地域の行事等に参加することで地域への理解を深め、情報収集能力の基礎を身につけ、地域住民との交流を通じてコミュニケーション能力を高める

# 地域理解実習の進め方





# 地域理解実習での「街歩き」



# 地域探索実習Ⅰの取組(1年後)

- **都市部**（都城市・日南市・延岡市）と**中山間地**（高千穂町・日之影町・西米良村）の地域づくり等の現状を比較して考察
- 下調べ等から地域資源及び地域課題の仮説立てを行い、実習において地域の現状についての探索実習を実施



# 地域探索実習Ⅰの実習風景 (都市部：都城市)





# 地域探索実習Ⅰの実習風景 (中山間地：日之影町)





# 地域探索実習Ⅱの取組(2年前)

- **県内の産業・企業**等を調査し、経営者との意見交換を通じて、産業ごとの経営・マーケティング手法、地域資源との関わりについて学修
- 実習の前後に、産業・企業の基礎的調査方法の学習、訪問企業の事前下調べ、成果の振り返り等を行ない、産業・企業の現状を整理し、地域・産業・企業の課題等の分析等を通じて、総合的な理解を深める

# 地域探索実習Ⅱの実習風景 (株式会社 共立電機)





# 地域探索実習Ⅱの実習風景 (霧島酒造株式会社)

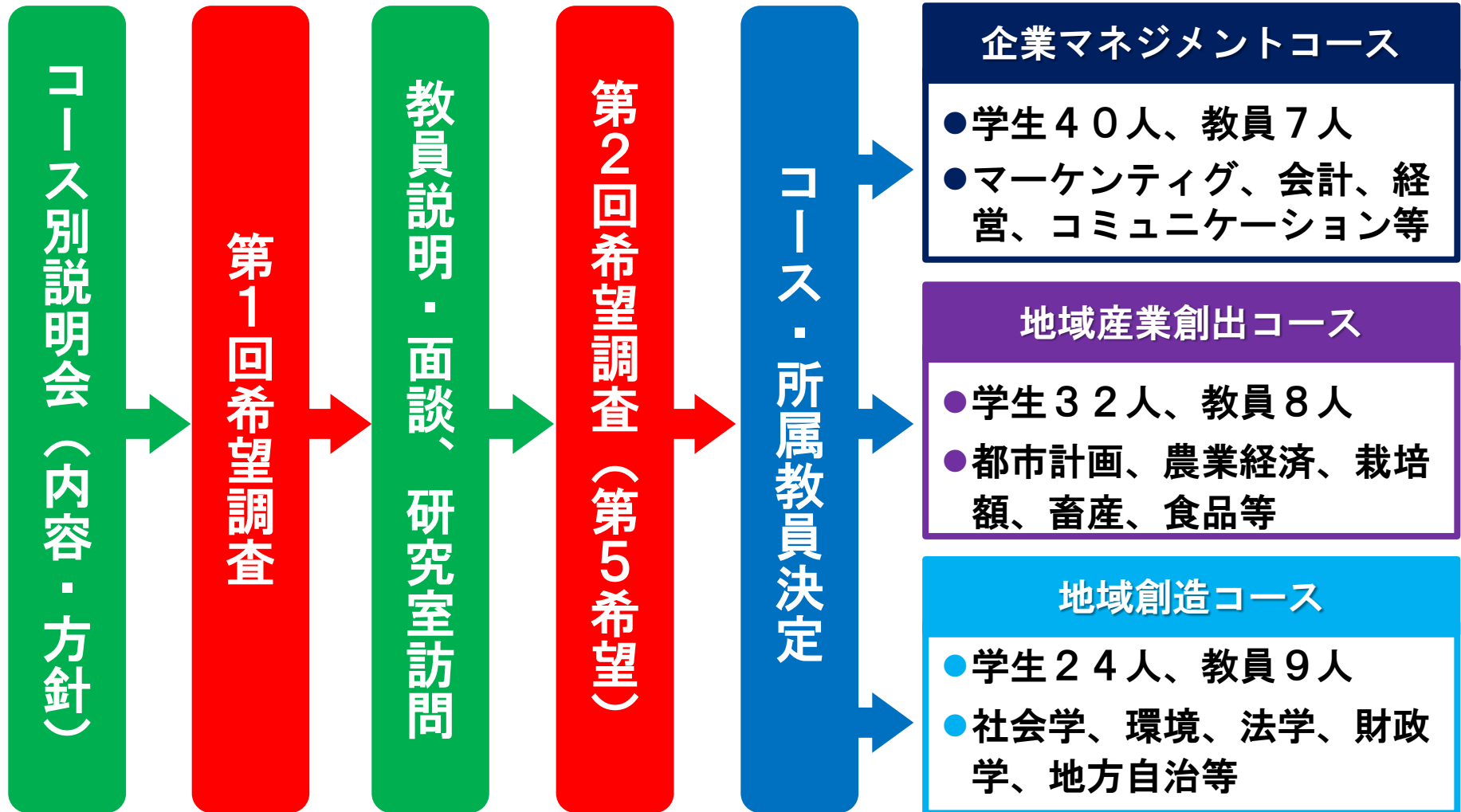


# コース別マネジメント**実践**の取組(2年後)

- 学生各位の希望に基づき、3コース（①**企業マネジメント**、②**地域産業創出**、③**地域創造**）に分かれ、コース所属教員の下で**ゼミナール形式（少人数による演習）**で実施
- コース並びにゼミ指導教員の学修方針に基づき、**地域実習、輪読・輪講、実験等**を実施（合宿、学会参加等の課外のゼミ活動も予定）



# コース・教員の決定過程と所属状況



**ご清聴ありがとうございました。**